

## 解 答

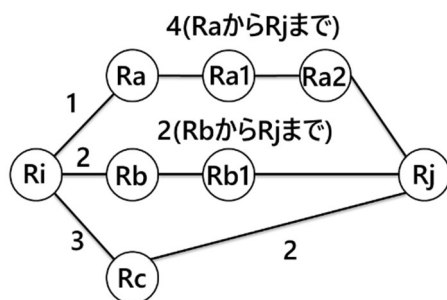
2026	科目名	情報・通信： 情報通信ネットワーク	1 / 1
------	-----	----------------------	-------

問 1 :

(1) RIP 等の方式：ホップバイホップルーティング

別の方式：送信元(or ソース)ルーティング

(2) 接続状況：右図



転送先ルータ：Rb

理由：ルータ Rj までの経路コストが最小であるため

(3) 名称：距離ベクトル型ルーティング

問題点：各ルータは対象のルータへの最小コスト経路への方向の情報のみ保有するため、リンクやルータの故障や動的変化によるコスト更新が適切になされない

問 2 :

(1) 該当の方式：誤り検出のみ

理由：ビット誤り率が比較的 low、誤り検出/訂正を適用するよりも検出時はその都度再送した方が低コストで済むことが多いため

(2) ①ビット列全体の 1 の個数を偶数にさせるため

②可否：不可能

理由：ビット誤り無しの時と同様に、全体の 1 の個数が偶数であるため

③オーバーヘッド：4001 ビット

理由：1000 ビット毎にパリティビットを追加することにより 3000 ビットが付加され、さらに 1 ブロック分の再送により 1001 ビットが追加されるため